

## 日本甲殻類学会第42回大会 プログラム

会期：平成16年11月13日(土)、14日(日)

会場：東京海洋大学(品川キャンパス)

### 11月13日(土)

9:00～9:05 開会挨拶

9:05～12:00 甲殻類学会シンポジウム

9:05～9:10 趣旨説明

9:10～9:35 S1「ミトコンドリアゲノム全長配列に基づく十脚類甲殻類の系統解析」  
○山内視嗣(東大海洋研究所)・宮 正樹・駒井智幸(千葉中央博)・西田 睦(東大海洋研究所)

9:35～10:00 S2「カイアシ類ミトコンドリア DNA の構造特性とその系統解析への適用」  
町田龍二(東京大学海洋研究所 浮遊生物分野)

10:00～10:25 S3「蔓脚類を用いた系統学的研究—熱水噴出域固有蔓脚類の研究例—」  
○渡部裕美(東京大学海洋研究所)・加戸隆介(北里大水産学部)・  
小島茂明(東京大海洋研究所)

10:25～10:35 休憩

10:35～11:00 S4「多摩川河口干潟に生息する *Hemicyclops* 属カイアシ類の捕食者回避戦略と類縁関係」  
伊藤 宏(株式会社水土舎)

11:00～11:25 S5「節足動物の高次系統・グラウンドプランならびにその変遷の再構築—  
甲殻類の比較形態・比較発生的研究のもつポテンシャル—」  
○町田龍一郎(筑波大学大学院生命環境科学研究科/菅平高原実験センター)

11:25～11:55 総合討論

11:00～13:00 評議会

12:00～13:00 昼食

13:00～15:00 口頭発表

13:00～13:15 01「アルテミアトレハラーゼ cDNA 全長に対応する遺伝子の塩基配列決定と構造解析」

○田中 晋・南部文子・南部滋郎（産業医科大学・産業保健学部・第一生体情報学）

13:15～13:30 02「近交系アルテミアの諸性質 DNA の RAPD 分析、寿命、生殖様式、耐塩性について」

○南部滋郎・田中 晋・南部文子（産業医科大学・産業保健学部・第一生体情報学）

13:30～13:45 03「イソサクラエビ属 2 種 *Sicyonella antennata* および *S. inermis* の mtDNA CO I 領域の塩基配列変異について」

○玉城泉也（西海水研石垣）・福岡弘紀（国立科博）・伏屋玲子・林原毅・加藤雅也（西海水研石垣）

13:45～14:00 04「横浜市域と三浦半島に分布するヌカエビ集団のアロザイム分析による遺伝学的・形態的特長」

○樋口文夫（横浜市環境科学研究所）・益子計夫（帝京大学）

14:00～14:15 05「沖縄島産シオマネキ集団の低い遺伝的多様性と遺伝的独立性の立証」

○青木美鈴・今井秀行（琉球大理）

14:15～14:30 06「宮古島の地下水域に生息する甲殻類相」

○藤田喜久（琉大・大学教育センター）・川原 剛（琉大・院・理工）・諸喜田茂充（琉大・理）

14:30～14:45 07「*Periclimenes adularans* Bruce, 2003（十脚目：テナガエビ科）の宿主、生時の色彩ならびに日本と台湾からの新記録」

奥野淳兒（千葉県立中央博物館分館 海の博物館）

14:45～15:00 08「ヒルミミズの発見から浮かび上がってきたカワリヌマエビ属の現状」

○丹羽信彰（神戸市立六甲アイランド高校）・西野麻知子（琵琶湖研究所）・大高明史（弘前大・教育）

15:00～15:30 休憩（ポスター掲示開始）

15:30～17:20 ポスター発表

P1 「ヤップ島におけるノコギリガザミの分布、漁法および流通に関する研究」

○川田晃弘・渡邊精一（東京海洋大学）

P2 「主として潮岬南西沖における蟹類相調査－水深勾配に対する蟹類相の変遷－」

渡部 元（東京大学海洋研究所、神奈川県立生命の星・地球博物館）

P3 「オカダンゴムシ *Armadillidium vulgare* のサイナス腺、造雄腺の精巢に及ぼす影響」

○三枝真弓・山下 瞳・武富葉子（熊本大・理・生）

P4 「サワガニ *Geothelphusa dehaani* に見られた intersex のカニの造雄腺について」

岩正広美・森 智子・○武富葉子（熊本大・理・生物科学科）・高橋 徹（熊本保健科大）

P5 「イソサクラエビ属 3 種とサクラエビの胃内構造」

○福岡弘紀（国立科学博物館）

P6 「飼育下におけるナミクダヒゲエビの行動」

○井上由香利（かごしま水族館）・大富 潤（鹿児島大・水産）

P7 「Reproductive biology of freshwater palaemonid prawn *Macrobrachium lanchesteri* (De man, 1911) from Myanmar」

○Hla Phone, Hiroshi Suzuki and Jun Ohtomi

(Laboratory of Aquatic Resource Science Faculty of Fisheries, Kagoshima University)

P8 「静岡県下田市大賀茂川に生息するシオマネキ類について（その2）」

伊藤 円（日本甲殻学会員）

P9 「リュウグウモエビ *Parhippolyte misticia* (Clark, 1989)における雄性先熟性同時的雌雄同体」

○翁長 均・諸喜田茂充（琉球大・院・理）

P10 「ケブカエンコウガニ *Carcinoplax vestita* の2次性徴と性的2型」

○土井 航・横田賢史・Carlos Augusto Strüsmann・渡邊精一（東京海洋大学）

P11「アミメノコギリガザミの mtDNA 調節領域内にみられた Tarepeat 配列多型と DGGE 分析におけるヘテロ二重鎖変形への影響」

○玉城泉也・伏屋玲子・林原 毅・加藤雅也（西海水研石垣）

P12「アミメノコギリガザミの幼生を用いたマイクロサテライトマーカー多型解析」

○伏屋玲子（西海水研石垣）・團 重樹（水研セ八重山）・浜崎活幸・坂本 崇（東京海洋大）

P13「サワガニ科の numtDNA の分子進化学的研究」

○瀬川涼子・青塚正志（東京都立大学大学院理学研究科）

P14「東京湾潮間帯におけるフジツボ類の分布および生息環境」

○藤木宣成（東京海洋大学）・加戸隆介（北里大水）・渡邊精一（東京海洋大学）

P15「*Pagurus decimbranchiae* (Komai & Osawa, 2001) の幼生期」

○三次充和・瀬川 進・土屋光太郎（東京海洋大・海洋環境・海洋生物）

P16「オキナワアナジャコ *Thalassina anomala* (Herbst, 1803) の初期生活史」

○野島 崇・仲宗根幸男（琉球大・院・教育学研究科）

P17「カスリテナガエビ *Macrobrachium lepidactyloides* (De Man, 1892) の初期生活史」

○池田広志・藤田喜久・緒喜田茂充（琉大・理）

17:30～ 懇親会

11月14日(日)

10:00~12:00      ポスター発表

P18 「寄生性蔓脚類フクロムシ類と宿主カニ類の共系統解析」

○土田浩平・西田 睦(東大・海洋研)

P19 「イクビホンヤドカリ *Pagurus proximus* の貝殻選好性」

○岩倉美沙子 (北大・水産)・大場隆史・五嶋聖治 (北大・院・水産)

P20 「関東地方における淡水性甲殻類十脚目ヌマエビ科・テナガエビ科の分布」

○宇佐美葉・渡邊精一(東京海洋大学)

P21 「チチュウカイミドリガニが底生動物群集に与える影響」

○飯沼悠一・渡邊精一(東京海洋大学)

P22 「鹿児島湾から採集されたサケエビ属 *Parapenaeus* の1種について」

○永田理雄 (鹿児島大・院・連合農学)・大富 潤 (鹿児島大・水産)

P23 「我が国周辺で始めて採集されたクルマエビ科エビ類 *Metapenaeopsis velutina*」

阪地英男(水産総合研究センター・中央水産研究所)

P24 「*Elaphognathia* sp. (等脚目・ウミクワガタ科) の雄の多型と繁殖生態」

○田中克彦 (志津川町自然環境活用センター)・西栄二郎 (横国大・教育人間科学)

P25 「ヤエヤマシオマネキの交尾行動の季節変化」

○上野至郎 (熊本大・院・自然科学)・逸見泰久 (熊本大・沿岸セ)

P26 「シオマネキ類の小ハサミの比較形態」

○山口隆男・逸見泰久 (熊本大学・合津マリンステーション)

P27 「北海道然別湖に定着した外来種ウチダザリガニの繁殖」

○中田和義 (北大・院・水産)・田中 全 (神戸市)・五嶋聖治 (北大・院・水産)

P28 「Reproduction of the blue swimming crab (*Portunus pelagicus*) in Mayanga water, west Java province, Indonesia」

Sulistiono, Dedy Tri Hermanto

(Faculty of Fisheries and Marine Science, Bogor Agricultural University),

○Seiichi Watanabe (Tokyo University of Marine Science and Technology)

P29 「アイソザイム分析による石垣島と西表島産カワリヌマエビ類の遺伝的差異」

○今井秀行（琉球大理）・成瀬貫（琉球大 COE 研員・ウミガメ協黒島）・  
柏木芙美・諸喜田茂充（琉球大理）

P30 「ミトコンドリア DNA マーカーによるタイワンガザミの遺伝的集団構造解析」

○近藤聡美（琉球大理）・Jin-Hua Cheng（台湾水研東港）・Emilia T. Qunitio (SEAFDEC) ・  
Simon R. Bryars (SARDI) ・今井秀行（琉球大理）

P31 「モクズガニ属カニ類の遺伝的類縁関係～日本産のモクズガニは遺伝的に同一種か？～」

○山崎いづみ・吉崎悟朗・渡邊精一（東京海洋大学）

P32 「キンセンガニ *Matuta victor* の初期発生と成長」

○佐田健志・横田賢史・Carlos Augusto Strüsmann・渡邊精一（東京海洋大学）

P33 「Megalopal coloration in *Plagusia dentipes* de Haan」

○Stepanus A. Samson・Masashi Yokota・Carlos Augusto Strüsmann・Seiichi Watanabe  
(Tokyo University of Marine Science and Technology)

P34 「オウギガニ科 Zosiminae 2 種のゾエア幼生」

○田中宏典・芝洋二郎（アクアワールド茨城県大洗水族館）・猿渡敏郎（東大海洋研）

P35 「アシナガヌマエビ *Caridina rubella* Fujino and Shokita, 1975 の初期幼生と成体の生息環境」

○川原 剛（琉大・理工）・藤田喜久（琉大・大学教育センター）・諸喜田茂充（琉大・理工）

P36 「ウミシダ類共生性カニ類（ケブカガニ科ムラサキゴカクガニ亜科）3 種の幼生」

○藤田喜久（琉大・大学教育センター）・諸喜田茂充（琉大・理）

12:00～13:00 昼食

13:00～14:00 総会

14:00～14:30 レクチャー

「ゾエア学事始めー幼生の記載的研究への招待」

小西光一（養殖研究所企画連絡室）

14:30～15:00 休憩（口頭発表準備）

15:00～16:45 口頭発表

- 15:00～15:15 09 「甲殻類ホールボディーでの筋細胞の免疫組織化学的証明」  
上野正樹(北里大学医療衛生学部)
- 15:15～15:30 010 「ホンヤドカリにおける雌の間接的雄選択性」  
○吉野健児(愛媛大・沿岸センター)・山野井貴博・今 考悦(東大院・農)・  
五島聖治(北大院・水産)
- 15:30～15:45 011 「トウヨウコシオリエビ幼生の脱皮成長に伴う形態変化」  
○田邊智佳・福田 靖(九州ルーテル学院大学)・馬場敬次(熊本大学・教育)
- 15:45～16:00 012 「Embryonic and larval development of xanthid crab *Leptodius exaratus*  
(H. Milne Edwards:1834) reared in the Laboratory」  
○Than Than Lwin・Seiichi Watanabe  
(Tokyo University of Marine Science and Technology)
- 16:00～16:15 013 「ユノハナガニの脱皮成長」  
○土田真二(海洋研究機構)・渡邊精一(東京海洋大学)
- 16:15～16:30 014 「Morphological differences and distribution of two sympatric forms  
of the penicillate shore crab *Hemigrapsus penicillatus* de Haan, 1835  
caught along Tokyo Bay」  
○Winda Mercedes Mingkid・Satoshi Akiwa・Seiichi Watanabe  
(Tokyo University of Marine Science and Technology)
- 16:30～16:45 015 「東京湾産チチュウカイミドリガニに付着する生物」  
○陳 融斌・横田賢史・Carlos Augusto Strüsmann・渡邊精一(東京海洋大学)